

新富町の新たな力に!

第1回

地域おこし協力隊通信

地域おこし協力隊がやってきた!

4月に6人増えて、計8人に!?

2018年、2人だった新富町地域おこし協力隊は、今年4月に6人増え、合計8人体制となりました。今後は本誌を通して、地域おこし協力隊の活動や近況をお届けしていきます。第1回目の今回は、8人の隊員をご紹介いたします。



ほんたけふみや
本武 郁也

新しい飲食業態を 故郷である新富町に

新富町育ちです！18歳で東京に上京し、この度まことに帰って参りました。東京ではホテルの専門学校に通い、都内ホテルのレストランサービスを経て、ワインのインポート会社で働いていました。新富町の皆さまが毎日通いたくなる飲食店を目指しています！よろしくお願いします！



いわもとしゅうせい
岩本 働成

地域の資源を活用した、 健康・美容に良いモノの開発

「メディカルフルーツパパイア」に魅せられて、世界一チャレンジしやすいまち、新富町に移住してきました。パパイアを活かして、健康・美容に良いモノを作っています。いろいろな方のお力を借りて、農業を学んでいきたいです。どうぞよろしくお願いします。



はしもとけんた
橋本 健太

国が進めるプロジェクトの 実践を新富町で

名古屋で地域問題研究所という機関でまちづくりの計画策定に携わる仕事をしてきました。新富町では、これから国や町で計画の実行の部分に携わりたいです。また、町民の方々向けの学びの場を作ることや、都心部の企業研修の受け入れも行なっていきたいと思っています。



おのあかね
小野 茜

食にまつわるご相談 なんでも乗ります!!

ホテル、レストラン、カフェ、料理教室など、企画や開発といった職種でこれまで一貫して食の仕事に携わってきました。「新富町に繁盛店ヒット商品を」をテーマに、飲食店や商品の開発・コンサルティングを担当していて、地元事業者さんからのご相談も受付しています！

そもそも地域おこし協力隊って？

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。隊員は1年以上3年以下の期間、地方自治体の委嘱を受け、地域で生活し、各種の地域協力活動を行っていきます。



いのうえひろな
井上 洋菜

さまざまな人が 交流できる場づくり

福岡の大学に進学し、地域学を学びながら国内外の地域の取り組みに関する知見を得てきました。町全体で子育てをしたり、多世代、多様な人が交流できたりするような場を作りたいです。まずは新富町を知り、まちの皆さんと交流していきたいと思っています。出身は隣町の西都市です。



かわのたいき
河野 大樹

帰ってきた地元を もっとワクワクするまちに

新富町出身で、この度地域おこし協力隊として帰ってまいりました、河野大樹と申します！現在は10号線沿いに、新富町や宮崎の素材を使ったお菓子の製造工房・販売所の設営、運営に取り組んでいます。生まれ育った新富町が一層ワクワクできるまちになるよう取り組んで参ります！



ふくしまあや
福島 梢

チャレンジが賞賛される カルチャーを新富町に

2人の子どもと一緒に東京からやってきました。役場や地区の方が気に掛けてくださり、安心して過ごせています。過去には働き方課題に向き合う企業のサポートやチームづくりに従事。研修を通し、大人がチャレンジする場を提供することで、子どももチャレンジしやすいまちづくりに貢献します。



ますだやうたろう
増田 悠太朗

デザインの力で新富町を より魅力的な町に

これまで東京を拠点にデザインの仕事をしてまいりましたが、昨年より地域おこし協力隊として新富町で活動しています。観光や移住促進のPR、特産品のパッケージデザインなど、自分の持っているスキルや経験を活かして、新富町の魅力を最大限に引き出すお手伝いをしたいと思っています。

あかねのつぶやき
直売所で見た摘果メロンに感動し、たくさん買い込みました。漬物を3種類作りました。私は柚子をきかせた浅漬けが好みです